

〔 6 〕 地球温暖化対策

6-1 概要

地球温暖化とは、人の活動の拡大により二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中の濃度が高まり、地表面の温度が上昇し、その結果として気候の変動が引き起こされることです。

地球温暖化の影響は、海水面の上昇、低地の水没、異常気象の発生などで、地球規模の問題となっています。これは日本においても例外でなく、洪水や干ばつによる食糧の不足、風水害による直接の被害、温暖化に伴いマラリア等疫病の蔓延による健康被害が発生するなど、深刻な事態を引き起こすことが懸念されています。

町では地球温暖化を防止するため、地球温暖化防止活動推進員と協働し、二酸化炭素排出量削減のための啓発活動を実施しています。

6-2 啓発活動

エコドライブキャンペーン

地球温暖化防止活動推進員、ガールスカウトと合同で、商工会青年部主催ふれあい広場にて、のぼり旗と横断幕を掲げ、エコドライブを呼びかけるチラシを配布しました。

実施日	平成22年7月24日（土）
場 所	ラディアン
実施者	13名

エコライフチャレンジ

小学生児童を対象に、夏休みと冬休みに節電やごみの削減など家庭でできるエコ活動のチェックシートを配布し、地球温暖化対策への意識啓発を行いました。

実施期間	夏休みと冬休み
参加児童	735名(夏休みに行ったチェックシートの回収枚数)

マイふろしきを作ろう

二宮小学校のイベント「にのっこパーク」の講座の一環として、地球温暖化防止活動推進員、PTAと協働で「マイふろしき作り」を実施しました。児童がふろしき作りや使い方を学ぶことを通じて、レジ袋削減への一助とし、地球温暖化対策への意識啓発につなげました。

実施日	平成22年11月18日（木）
参加児童	55名

6-3 グリーン購入

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。グリーン購入は、購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていくことが期待されています。

平成13年4月に「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」が施行されたことを受け、町では平成15年8月「二宮町グリーン購入基本方針」を策定し、環境に配慮した物品を購入するよう努めています。

調達率内訳

分類	全体の 購入数	グリーン物品 購入数	調達 実績	備考
紙類	4,822,235	4,620,077	95.81%	
文具類	118,022	99,645	84.43%	
機器類	257	231	89.88%	
OA機器	33	20	60.61%	
家電製品	88	87	98.86%	
エアコンディショナー等	1	0	0%	
温水器等	0	0	—	購入なし
照明	717	345	48.12%	
自動車	0	0	—	購入なし
消火器	72	69	95.83%	
制服・作業服	344	5	1.45%	
インテリア・寝装	20	20	100%	
作業手袋	3,745	1,410	37.65%	
その他繊維製品	12	0	0%	

6-4 公共施設の新エネルギー活用状況

エネルギー区分	施設名称	所在地	設置年度	設置台数	発電容量合計	設備概要
太陽光発電	二宮町 IT ふれあい館	二宮町 二宮 823	平成 14 年	1	5.0kw	IT 機器の稼動電力 として利用
クリーンエネルギー自動車	ハイブリッド 自動車	—	平成 14 年	1	—	公用車利用

6-5 太陽光発電補助金

平成 21 年度から住宅用太陽光発電システムを自宅に設置する方に、設置費用の一部補助を開始し、新エネルギー導入を推進しています。

補助対象 住宅の屋根などに設置する太陽光発電システムで、電力会社と電力需給契約を締結する方

募集件数 20 件 （補助件数 22 件）

補助金額 次の (1) と (2) により算出した額の合計

(1) 町から 2 万円に太陽電池モジュールの最大出力値を乗じて得た額

(2) 町長が必要と認めるとき（県補助金）は、2 万円に、太陽電池モジュールの最大出力値を乗じて得た額

※(1)(2)とも上限 7 万円。

手続きの流れ

